

●学校法人α Version 4.701

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ ATLAS シリーズに伴う改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人db (VERSION:4.701) の変更点**”を参照してください。

# 学校法人 d b (VERSION:4.701) の変更点

## 改良・修正

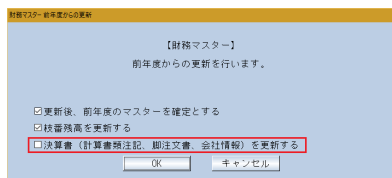
### I. 導入・更新

#### 1) 翌期更新

- ・前年度繰越支払資金の補正予算の更新に対応しました。
- ・半期または四半期決算の設定で、仕訳を入力せずに残高登録で残高のみ登録（入力開始処理月を決修にし、期中は全て月ごとに残高登録）をして翌期更新を行うと、更新後のマスターの前期残高に半期、四半期の枠が無く、前期残高がおかしくなっていたのを修正しました。

#### 2) 前年度からの更新

- ・過年度マスターから当年度マスターへ「計算書類の注記」「脚注」「表紙」の情報を更新するように対応しました。
- ・過年度マスターの注記や脚注を変更した場合に、その内容を当期マスターに反映させます。



- ・前年度繰越支払資金の補正予算の更新に対応しました。

### II. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

##### ① 伝票入力

- ・単一仕訳入力時、現金／普通預金等の仕訳を入力後、ENTER キーで前仕訳の複写機能を使用すると摘要欄で動作停止していたのを修正しました。



- ・F5 前伝票で伝票を修正時、[End 入力へ] のボタンが無効で、[End 処理終了] で新規伝票入力画面に戻っていたのを、以前の表示に戻しました。



- ・単一仕訳入力時、借方の金額を修正しても、貸方の消費税の税額が変更されなかったのを修正しました。

例) 当初 現金/売上高 100,000 円 (内 8) を借方側の金額を 108,000 円に変更  
貸方の金額は自動で 108,000 円に変更されますが、税額は修正前のままとなっていました。

振替伝票		伝票番号		04 月 01 日		諸口貸借		0	
金額	消費税	借方	摘要	手形番号	手形期日	変事付箋	貸方	消費税	金額
108,000		現金					売上高 1	内 8	108,000
									7,407

そのまま伝票登録すると通常入力でも間違った税額で登録されていました。

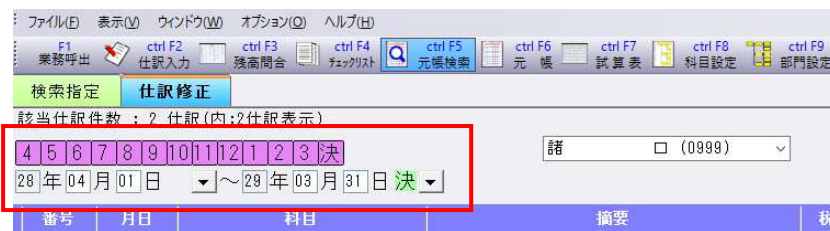
04.01	現金	売上高 1	108,000	7,407	内 8
-------	----	-------	---------	-------	-----

※既入力仕訳は、振替伝票画面で、貸方金額欄で ENTER を押すと再計算します。  
税額修正可として、手入力されている場合は金額を再度入力しないと変更されません。

- ・振替伝票形式において、オプション [伝票入力設定] の「別行として表示」で既入力伝票を表示すると、1 伝票で 128 行を超える場合に、128 行以降の科目が書き換わっていたのを修正しました。
- ・不課税・非課税科目の税区分を課税かつ、5%や 3%に切り替えた仕訳に対して、再度 Enter で送ったり、金額を打ち替えると 8%に変わっていたのを修正しました。

## 2) 元帳検索

- ・仕訳修正画面に、月指定バーを表示させ、月移動の表示ができるように改良しました。



- ・結果表示画面で各項目の横幅を変更している場合、翌期更新後に横幅が初期値に戻ることがあったのを修正しました。

※翌期更新後、仕訳を入力せずに元帳検索を起動し「仕訳が入力されていません。」のメッセージが表示された後に、初期値に戻っていました。

- ・ [F4 仕訳追加] [Ins 仕訳挿入] で仕訳を入力、摘要を手入力した後、Shift+TAB で消費税欄に戻ると手入力した摘要がクリアされていたのを修正しました。
- ・修正、追加等で枝番摘要を仕訳の摘要に転記した場合、10 文字までしか反映しなかったのを 11 文字以上反映するようにしました。(仕訳入力の [F4 入力設定] 「枝番摘要を仕訳摘要にセット」を選択している場合)

## 3) 残高問い合わせ

### ① 推移貸借/推移損益

- ・枝番が多く 2 ページ以上になる場合、枝番の小計が正しく集計されていなかったのを修正しました。プレビューで、前ページに戻ったりした場合に金額が変更されていました。指定月を 10 か月以上にした場合に 9 か月目以降の小計が正しく集計されませんでした。

## 4) 新規会社登録・修正・削除

- ・期中入力開始マスターで、決算修正処理を変更した場合、入力した残高がクリアされることがあったのを修正しました。入力開始月を「期末月」、決算修正処理を行わない条件でマスターを作成し、各月の残高を登録した後、決算修正処理を行うに切り替えると、12 月以降の各月の残高が消えていました。

例) 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 入力開始月：3 月 / 決算修正処理：行わない  
4 月～2 月に残高を入力し、決算修正処理を行うに切り替えると、1 月と 2 月の残高が消えていました。

## 5) 資金科目・予算・予備費関係登録

- ・予算・予備費(資金)登録で、前年度繰越支払資金の補正予算入力ができるように対応しました。  
毎年決算確定前に翌年の予算書を作成するが、前年度繰越支払資金の額が決定額ではなく、決算確定後に繰越支払資金額のずれが生じるので補正という形で差額を入力する時に使用します。  
※新会計基準のみ対応しています。

- ・予算・予備費(資金)登録で、[F9]他予算を選択して [補正予算(F11)] を押すと、左記画面を表示します。
- ・従来は、翌年度繰越支払資金の補正予算入力のみだったのを、並べて表示するようにしました。

- ・『試算表』『決算書』『予算書』『予算内訳表』の資金収支の各表において、前年度繰越支払資金の補正予算の集計・出力に対応しています。
- ・予算・予備費(資金)タブにおいて、貸方属性の科目で[F11]詳細入力を行い、予算・予備費(事業)タブで[Ins]予算複写をすると、[F11]詳細入力で入力した補正予算のプラス/マイナスが反転して複写されるケースがあったのを修正しました。

## Ⅲ. 出力

### 1) 仕訳日記帳

- ・部門番号 0 番の仕訳が、仕訳日記帳で部門別にした際、出力されなかったのを修正しました。

### 2) 試算表

- ・前年度繰越支払資金の補正予算の集計・出力に対応しました。※新会計基準のみに対応しています。
- ・貸借科目で残高が 0 となった後の期間を選択しても、貸借対照表にその科目が金額 0 で出力されていたのを、出力しないように対応しました。

例：4 月に仮払金の発生があり 5 月に精算した場合、6 月以降の指定で仮払金が金額 0 で出力されてい  
ました。

- \* 「試算表」または「予備費使用内訳表」では、顧問先名が通常出力される位置より 1 段上に表示されてい  
ていました。
- \* 「精算表」または「定型試算表」で、顧問先名が出力されませんでした。

- ・ [詳細項目の指定] の、「補助活動収支を明細で出力する」を決算書に合わせて変更しました。
    - 明細出力時、補助活動収支に合計行を表示する
    - 明細出力時、補助活動事業収支に合計行を表示する
- ※新会計基準のみ対応しています。

詳細項目の指定

行 間 隔

予算額が0の時、予算残高を出力する

科目名に科目コードを付加する

分類項目に網掛出力をする

科目欄に網掛出力をする

横罫線を破線で出力する

指定期間を合算する

表紙を出力する

予備費使用欄を出力する

資金調整科目の自動計算をする

補助活動収支を明細で出力する

詳細項目の指定

行 間 隔

予算額が0の時、予算残高を出力する

科目名に科目コードを付加する

分類項目に網掛出力をする

科目欄に網掛出力をする

横罫線を破線で出力する

指定期間を合算する

表紙を出力する

予備費使用欄を出力する

資金調整科目の自動計算をする

明細出力時、補助活動収支に合計行を表示する

明細出力時、補助活動事業収支に合計行を表示する

**【明細出力時、補助活動収支に合計行を表示する】**

《対象科目》

資金収支計算書	付随事業・収益事業収入	「補助活動収入」
	教育研究経費支出	「補助活動仕入支出」
	管理経費 支出	「補助活動仕入支出」
事業活動収支計算書	付随事業 収入	「補助活動収入」
	教育研究 経費	「補助活動収入原価」
	管 理 経 費	「補助活動収入原価」

**【明細出力時、補助活動事業収支に合計行を表示する】**

《対象科目》

資金収支計算書	付随事業・収益事業収入	「補助活動事業収入」
	教育研究経費支出	「補助活動事業支出」
	管理経費 支出	「補助活動事業支出」
事業活動収支計算書	付随事業 収入	「補助活動事業収入」
	教育研究 経費	「補助活動事業支出」
	管 理 経 費	「補助活動事業支出」

- ・ 初期値はチェックOFFにしています。
- ・ チェックONで、上記科目の[F7]合計・明細の設定が「明細」のとき、合計行と明細行を表示します。
- ・ 明細出力時、補助活動収支（補助活動事業収支）に合計行を表示する = OFF  
 [F7]合計・明細 = 合計 … 従来の合計出力 / [F7]合計・明細 = 明細 … 従来の明細出力
- ・ 明細出力時、補助活動収支（補助活動事業収支）に合計行を表示する = ON  
 [F7]合計・明細 = 合計 … 従来の合計出力 / [F7]合計・明細 = 明細 … 今回の明細出力

※[F7]合計・明細で上記科目の設定が初期値のときは、上記選択のチェックON⇔OFFにより自動的に明細⇔合計が切り替わります。

[F7]合計・明細の設定を手動で変更されているときはそれを優先しますので、自動的に明細⇔合計は切り替わりません。

【例】 補助活動収入・補助活動仕入支出に各々4科目ずつ明細科目追加しています。

(チェックOFF / [F7]合計・明細 = 合計)      (チェックON / [F7]合計・明細 = 明細)

収入の部			収入の部		
科	目	予 算	科	目	予 算
付随事業・収益事業収入		( 6,250,000)	付随事業・収益事業収入		( 6,250,000)
補助活動収入		6,250,000	補助活動収入		6,250,000
前年度繰越支払資金		( 3,750,000)	給食費収入		1,561,000
収入の部合計		10,000,000	用品代収入		1,562,000
支出の部			支出の部		
科	目	予 算	科	目	予 算
管理経費支出		( 6,890,000)	バス維持費収入		1,563,000
補助活動仕入支出		6,890,000	課外活動収入		1,564,000
翌年度繰越支払資金		( 3,110,000)	前年度繰越支払資金		( 3,750,000)
支出の部合計		10,000,000	収入の部合計		10,000,000
支出の部			支出の部		
科	目	予 算	科	目	予 算
管理経費支出		( 6,890,000)	管理経費支出		( 6,890,000)
補助活動仕入支出		6,890,000	補助活動仕入支出		6,890,000
給食費支出		1,721,000	給食費支出		1,721,000
用品代支出		1,722,000	用品代支出		1,722,000
バス維持費支出		1,723,000	バス維持費支出		1,723,000
課外活動支出		1,724,000	課外活動支出		1,724,000
翌年度繰越支払資金		( 3,110,000)	翌年度繰越支払資金		( 3,110,000)
支出の部合計		10,000,000	支出の部合計		10,000,000

## IV. 決算

### 1) 決算書

①改良※新会計基準のみ対応しています。

・前年度繰越支払資金の補正予算の集計・出力に対応しました。

※『決算書』『内訳表』『予算書』『予算内訳表』において、同様の対応をしています。

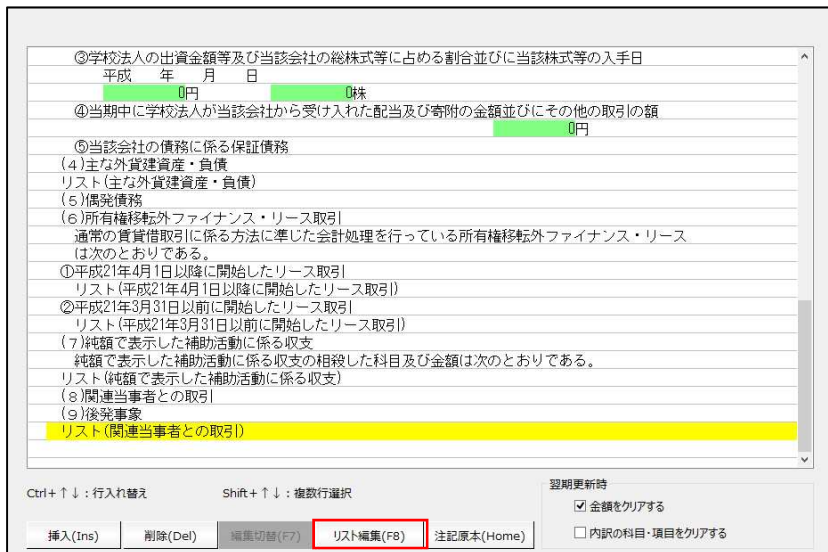
・決算書・予算書の[F6項目登録]の「前年対比の発生が無い欄に0円を出力する」を、内訳表・予算内訳表の[F6]項目登録の「金額の発生が無い欄に0円を出力する」の機能に統一しました。

・[F6項目登録]の[共通]タブの「出力行間」に『□計算書類の注記に出力行間を適用する』という選択を追加しました。

・[F6項目登録]の[計算書類の注記]タブの「8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項」の『(8) 関連当事者との取引』を記載例に合わせて、[注記原本(Home)]に「リスト(関連当事者との取引)」を追加し、表での登録・出力に対応しました。

#### 1. 注記原本から転送します。

※既に作成されている注記に該当項目のみ転送した場合は最下段に追加されます。  
Ctrl+↑で行入れ替えで、(8) 関連当事者等の取引の下に移動してください。



2. リスト(関連当事者との取引)を [リスト編集 (F8)] で開き、入力を行います。

属性	役員 法人等 の名称	住所	資本金又は 出資金	事業内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の 内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の 兼任等	事業上 の関係				

②修正

- ・ 計算書類の注記事項「学校法人間の財務取引」において、印刷時、表の右端が切れている場合があったのを修正しました。(EAR プリンタなど) ※新会計基準のみ対応しています。
- ・ [F6 項目登録] の[計算書類の注記]タブの「金額をクリアする」を ON、「内訳の科目・項目をクリアする」を OFF にして翌期更新処理を行うと、「デリバティブ取引」「主な外貨建資産・負債」「平成 21 年 4 月 1 日以降に開始したリース取引」の金額がクリアされていなかったのを修正しました。
- ・ [F6 項目登録] の[計算書類の注記]タブのリスト(学校法人間の財務取引)のダイアログで空白行を作成し[OK(End)]ボタンで登録すると、空白行が削除されなかったのを修正しました。

※新会計基準のみ対応しています。

- ・ 既存マスターのとき、[F7]合計・明細において事業活動収支計算書では、「初期化(F12)」をしない限り予備費使用額の「出力・省略(F8)」を行えなかったのを、初期化しなくても行えるようにしました。

※『決算書』『内訳表』『予算書』『予算内訳表』において、同様の対応をしています。

- ・人件費支出明細書の兼務教員人件費、兼務職員人件費、役員報酬支出、他人件費支出の出力について、[F7 合計・明細] で分類項目を省略せずに出力した場合、合計又は明細項目を分類項目と判断して出力していたのを修正しました。

※合計又は明細項目の科目欄の字下げ位置、金額欄の括弧などが、分類項目と同じになっていました。  
 ※『決算書』『内訳表』『予算書』『予算内訳表』の人件費支出の各表において、同様の対応をしています。

## 2) 附属明細書

[F6 項目登録] ※新会計基準のみ対応しています。

- ・借入金明細表で各借入金データの当期増加額・当期減少額が0円の際の出力設定を追加しました。  
 発生が無い当期増加額、当期減少額に0を印字する

※期首残高、当期増加額、当期減少額、期末残高がいずれも0円の際は従来通り空白になります。

- ・固定資産明細書・借入金明細表は横型の帳票でページ番号を印刷すると表の下に出力されるため、決算書と綴じるとページ番号が横に印字された形となります。  
 決算書と綴じた場合にページ位置を揃えられるよう、[縦の位置に出力する] を設けました。

固定資産明細書

借入金明細書

## 3) 財産目録

- ・第一画面に、どの出力様式が選択されているかを表示するようにしました。

番号	科目名称	財産目録摘要名称	科目残高	複数行
001	【土 地】		1,600,000,000	
002	土 地		1,600,000,000	
003	【建 物】		7,240,000,000	

これに伴い"番号左の「\*」は「小計出力する」を意味します。"の文言は画面下部に移動しました。

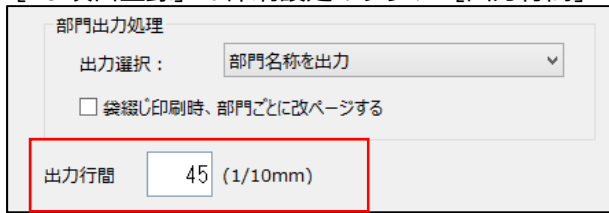
- ・詳細入力の内訳金額と財務マスターの科目残高に差異がある場合のメッセージに（科目残高）の文言を加えました。

※「財産目録摘要登録」（ブルーのタイトル）の表記はカットしました。

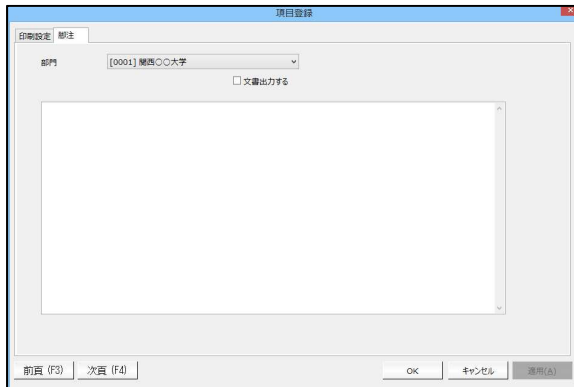
- ・部門の指定方法に出力パターン選択を追加しました。



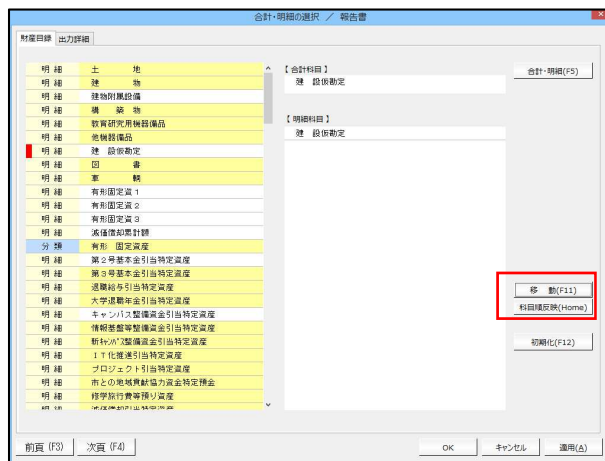
- ・ [F6 印刷設定] を [F6 項目登録] に文言変更しました。
  - ・ 「出力行間」を変更できるように対応しました。
- [F6 項目登録] の印刷設定のタブに [出力行間] の指定を設けました。初期値「45」



- ・ 「脚注」の処理について、従来の出力パターンごとを、部門ごとに変更しています。



- ・ [F7 合計明細] で、科目の入れ替えができるように対応しました。
- [移動 (F11)] [科目順反映 (Home)] の処理を設けました。

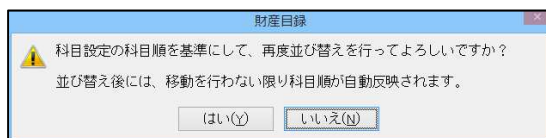


#### [移動 (F11)]

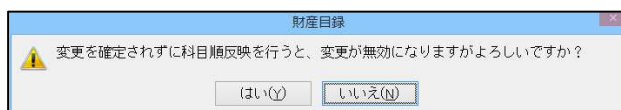
- ・ 移動したい科目で F11 を押下し、移動させたい位置で F11 を押下するとその科目の前に移動します。

#### [科目順反映 (Home)]

- ・ 科目設定・残高登録の「科目順」を基準にして並び替えを行います。（移動を行っている場合に選択可能になります。）



- ※ [合計・明細] と [移動] を行った直後、[適用] 又は [OK] を押さずに、[科目順反映] を行うと下記のメッセージを表示します。[合計・明細] の設定も無効になります。



- ・財産目録摘要名称欄に科目名称の取り込みができるよう対応しました。  
 [F11 詳細入力] に [科目名称取込 (F8)] ボタンを設けて、財産目録摘要名称欄に科目名称を取り込めるようにしました。

※科目設定で「決算書名称」まで登録されている場合は「決算書名称」を取り込みます。  
 // 「試算表名称」まで登録されている場合は「試算表名称」を取り込みます。  
 // 「科目名称」まで登録されている場合は「科目名称」を取り込みます。

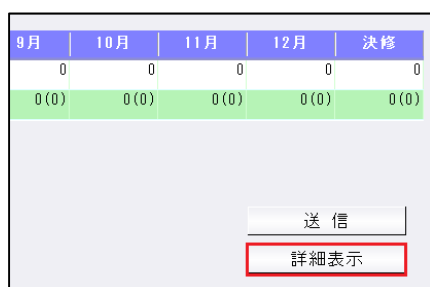


## V. 通信・移動

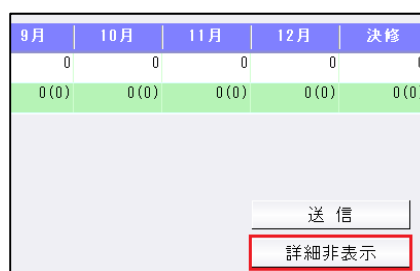
### 1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

- ・詳細表示した状態だとボタン文言は「詳細非表示」となるが、その状態で処理終了後に再度起動すると、詳細は表示されている状態であるが、ボタン文言が「詳細表示」となっていたのを修正しました。

[修正前]

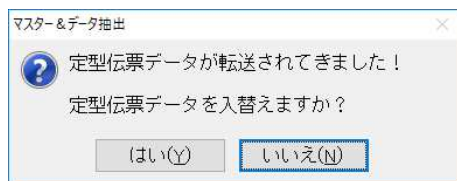


[修正後]



### 2) マスター&データ抽出

- ・定型伝票にチェックを付けたデータが会計事務所から送られてきた場合、抽出する時は下記メッセージを表示します。



## VI. 表形式

### 1) 表形式仕訳データ取込

- ・仕訳取込時に半角長音を半角ハイフン「-」に変換するようにしました。
- ・ダミー欄に数字が入っていると「仕入区分」欄が判定されないのを修正しました。

以上